

平成 30 (2018) 年度事業計画 (重点施策) の進捗状況 (概要)

令和元年 5 月 10 日現在

部門名 兵庫大学

兵庫大学短期大学部

平成 30 年度 事業計画 (重点施策)	これまでの進捗状況 (■) と今後の予定 (◇)				
1. 入学者目標数の必達					
<p>経営改善計画「学科別入学者目標数」</p> <p>【入学定員 総数】</p> <p>大学計 410 人 短大計 180 人 総計 590 人</p> <p>【入学者数】</p> <p>大学計 400 人 短大計 165 人 総数 565 人 (編入生除く)</p>	<p>■オープンキャンパスやサマーセミナー等、様々な企画を積極的に開催し、接触者数の増に努めた結果、<u>2,760 人と、昨年度 (2,572 人) よりも上回った</u>。また、高校 3 年生の接触者数も微増した。</p> <p>■受験生応援サイトをリニューアルし、各種イベントの告知から入試内容 (出願促進) の情報発信強化を図った。併せて、資料請求者に対する情報発信にも重点を置き、年 4 回の定期発送を実施。<u>資料請求者は年間で 20,309 件となり、昨年度 (18,327 件) から 2000 件増となった</u>。また、<u>動画配信による、教育内容の可視化</u>を図った。</p> <p>■一般入試の志願者・入学者獲得に向けた募集対策を講じた。資料発送では、本学保有名簿 4,500 件 (対象者抽出) に加え、兵庫県下の塾 146 校にも送付した。<u>DM 発送 6,000 件 (リクルート保有名簿)、FAX 送信 1,706 件 (高校、塾・予備校) を実施</u>。さらに WEB 対策として、ディスプレイ広告、リスティング広告を競合校 (出願時の志願者アンケート参考) の HP 閲覧者向けに戦術的 (競合校別の出願期間、合格発表日等) にアプローチし、併願層獲得の対策を実施。結果、一般入試以降の入学者 115 人と、昨年度 (62 人) から 1.85 倍の入学者を獲得した。</p> <p>◇<u>県外のターゲット県への大学認知度拡大及び志願者・入学者獲得を目的とした出張オープンキャンパスを高松で開催 (次年度実施) することを決定した</u>。</p>				
<p><現代ビジネス学科></p> <p>【入学定員】 120 人 【入学者数】 <u>107 人 (入学定員充足率 0.89)</u></p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" data-bbox="653 1768 1035 1908"> <tr> <td>自己評価</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </table> </div>	自己評価	最終評価	8	4	<p>■今年度のオープンキャンパス参加者数は 143 人と昨年度の 104 人を上回ったが、目標の 260 人は達成できなかった。</p> <p>■教員による高校訪問は、6 月と 7 月に 2 回実施し、それぞれ 60 校程度を訪問した。</p> <p>■「SOTO-MANABI」パンフレット、動画の制作、学部ニュースレター等を発行し、学びの見える化を図った。</p> <p>■Twitter (更新多数)、Facebook (更新 52 回)、公式サイト (更新 46 回) を強化した。</p> <p>■3 月 13 日にホテルセトレ神戸舞子において、ONE DAY MAGICAL TOUR を実施した。</p> <p>◇<u>2019 年度は、受験データ分析、分析に基づいた高校訪問、高大接続 FD を活用した高校との連携関係の強化、留学生募集等に力点を置き、募集活動を展開する</u>。</p>
自己評価	最終評価				
8	4				
<p><栄養マネジメント学科></p> <p>【入学定員】 80 人 【入学者数】 <u>62 人 (入学定員充足率 0.77)</u></p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" data-bbox="653 2332 1035 2472"> <tr> <td>自己評価</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table> </div>	自己評価	最終評価	5	5	<p>■公式サイトの学科記事更新を強化し、<u>教員 1 人につき、年 5 回の更新 (計 91 件を掲載) を行った</u>。</p> <p>■オープンキャンパスの体験授業内容を充実させ、各回終了後には、参加者に対して<u>手書きのサンキューレターを送付した</u>。</p> <p>■8 月に管理栄養士サマーセミナーを実施し、高校生との接触機会を増やした。プログラムの充実を図るため、病院訪問を取り入れた。</p> <p>■<u>学科ニュースレターを作成、第 4 号まで発行し、オープンキャンパス参加者への大学近況案内として発送した</u>。</p> <p>◇<u>入学時アンケートによる分析を行い、本学の印象や競合校の魅力の比較などを調査し、募集活動に活用する</u>。</p> <p>◇引き続き、公式サイトへの記事掲載、ニュースレターの作成等、情報発信力の強化を図る。</p>
自己評価	最終評価				
5	5				
<p><健康システム学科></p> <p>【入学定員】 40 人 【入学者数】 <u>42 人 (入学定員充足率 1.05)</u></p>	<p>■公式サイトの<u>学科記事を 21 回更新</u>、また、SNS を開設し 14 件の記事を公開した。</p> <p>■<u>アカデミックレクチャーの内容を見直し、以前から高校より依頼のあった 2 科目 (スポーツ栄養分野、トレーニング分野) を追加した</u>。</p> <p>■<u>学科のアカデミックプログラム「健康スポーツ指導者を目指す高校生のためのウィンターセミナー」を開催した (参加者は 2 名)</u></p>				

平成 30 年度 事業計画 (重点施策)	これまでの進捗状況 (■) と今後の予定 (◇)						
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td></td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">➡</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </table>	自己評価		最終評価	8	➡	7	<p>◇附属高校との連携強化を行うが、教員免許だけでなく、健康スポーツ指導コースの発信強化を検討する。</p> <p>◇<u>学生の課外活動、教員の研究活動等の学科関連の情報発信を強化する。</u></p>
自己評価		最終評価					
8	➡	7					
<p><看護学科> 【入学定員】 90 人 【入学者数】 <u>98 人 (入学定員充足率 1.08)</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td></td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">➡</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table>	自己評価		最終評価	1	➡	1	<p>■香寺、東播磨、太子高校などへ出前授業を行った。</p> <p>■オープンキャンパスでは、シミュレーション教育の紹介や模擬演習を行い、教育設備と教育支援体制を具体的に示した。</p> <p>◇引き続き、高大連携強化、シミュレーション教育の積極的な情報発信を行い、<u>学科が求める入学者の確保</u>に努める。</p> <p>◇<u>国家試験の合格率を高めながら、本学科の教育力の高さを伝える。</u></p>
自己評価		最終評価					
1	➡	1					
<p><社会福祉学科> 【入学定員】 30 人 【入学者数】 <u>40 人 (入学定員充足率 1.33)</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td></td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">➡</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table>	自己評価		最終評価	6	➡	5	<p>■4～6 月にかけて、学科教員による高校訪問を県内外で 70 校実施。進路指導教員への広報では DVD やボランティアの新聞掲載記事を活用。</p> <p>■出前授業を 9 件実施した。前期に集中しており、年度後半は出講がなかった。</p> <p>■入学課共同の「高校生のための探求塾」を姫路、佐用、本学で実施し、西播磨地区の開拓を図った。</p> <p>■PBL 活動、真備町ボランティアのテレビ取材、災害時避難所研修など、学科主体の行事の発信を行った。</p> <p>◇<u>目標としていた入学者を確保できた要因を分析し、今後の募集活動に活用する。</u></p>
自己評価		最終評価					
6	➡	5					
<p><こども福祉学科> 【入学定員】 50 人 【入学者数】 <u>51 人 (入学定員充足率 1.02)</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td></td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">➡</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table>	自己評価		最終評価	2	➡	2	<p>■7 月に実施した進路探究塾は、参加者がオープンキャンパスのリピーターとなり、志願者へと繋がったことで効果的であったと考えられる。<u>接触者の確実な取り込みが志願者増への結果として表れた。</u></p> <p>■教員による重点校の高校訪問を実施し、志願者増に繋がった。</p> <p>■公立園への就職を希望するなど、附属校出身の学生の学びの積極性が向上、学生の質が向上している。</p> <p>◇「兵庫大学特別支援保育士」を強化し、障害のある児童、入院中の患児への支援ができる<u>専門性教育</u>の理解を深める。</p> <p>◇国際的視点に立った就学前教育カリキュラムの改革を行う。また、医療機関における保育士の役割についての講演会を実施する。</p>
自己評価		最終評価					
2	➡	2					
<p><保育科第一部・第三部> 【入学定員】 第一部 100 人、第三部 80 人 【入学者数】 <u>第一部 79 人 (入学定員充足率 0.79)</u> <u>第三部 86 人 (入学定員充足率 1.02)</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td></td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">➡</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table>	自己評価		最終評価	5	➡	5	<p>■オープンキャンパスでは、<u>附属須磨ノ浦高校からの参加が大幅に減っている。</u></p> <p>■夏季研修中に高校訪問を 23 校、10 月以降は入学課とともに 13 校を訪問した。姫路別所高校の授業協力にも対応した。</p> <p>■保育者を目指す高校生向けに、ピアノ、図工などの体験授業であるサマースクールを実施し 30 名の参加を得た。</p> <p>◇教育学部の新設や短大の募集停止など、県内の養成校に動きがある。入学目標者数の確保に向け、<u>学科内にワーキンググループを設置し、検討を進める。</u></p>
自己評価		最終評価					
5	➡	5					
2. 国家試験等の高い合格率の確保							
<p><国家試験> 全学科目標合格率の達成 <教員採用試験> 学科目標の達成 <公務員採用試験> 学科目標の達成 <全学科就職率 100%></p>	<p>■各学科の授業時間割と調整しながら、各種試験対策講座のスケジュールを組んでいるため、学生が参加しやすい時間帯に開講。結果、<u>大学は中学校教諭 (保健体育) 1 名、消防職員 2 名、公立保育士・幼稚園教諭 3 名、短大では公立幼稚園教諭・保育士 6 名が内定</u>を得た。</p> <p>■栄養マネジメント学科、社会福祉学科、こども福祉学科において、教職・学習支援センターへの来室が少なく、あまり意欲が見られない。他にも、自身で取り組んだ方が早いと考える学生や途中で諦めてしまう学生も少なくない。</p> <p>◇週間スケジュールの見直しを行うなど、<u>講座の受講者数を増やすための対策や学生への周知方法を検討する。</u></p> <p>◇次年度に向けて、<u>卒業生への支援 (臨時採用で勤務している者)</u>を検討する。</p>						

平成 30 年度 事業計画 (重点施策)	これまでの進捗状況 (■) と今後の予定 (◇)												
<p><経済情報学科> <現代ビジネス学科> 公務員第一志望学生の合格率：100% (実績：合格者 0%)</p> <table border="1" data-bbox="653 338 1035 477"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td>8</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	8		8	<p>■加古川市、尼崎市の公務員採用試験において一次合格者が出た。一次試験合格の力は身に付いてきた。(最終合格者 0%) ■3年生を対象に、毎日(2月)午後公務員試験対策講座を学科教員の当番制により実施した。 ◇平成 31 年度は現代ビジネス学部 1 期生が対象となる。合格者 4 人の達成に向けて、対策を実施する。</p>						
自己評価	→	最終評価											
8		8											
<p><栄養マネジメント学科> 国家試験合格率：全国平均以上 (参考：全国平均 H29 (第 31 回) 92.4%) (実績：46 人合格/49 人受験 (93.9%) (新卒平均 95.5%))</p> <table border="1" data-bbox="653 822 1035 961"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="653 1267 1035 1406"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	2		2	自己評価	→	最終評価	2		2	<p><4 年生> ■模擬試験で学生自身が目標点を掲げ、未達成の学生についてはモーニングテスト等を実施した。 ■少人数授業では、学生自身が模擬試験問題を調べて、解答を導き出すという勉強方法(キーワードを覚える)を実施した。 ■模擬試験を 6 回実施した。いずれも全国平均を上回ることができなかった。 ◇少人数での勉強会、チューター面談、目標未達成時のモーニングテスト等を継続して実施する。 ◇前期は基礎知識の定着に重点を置き、後期は過去問に取り組み応用力を身につけさせる。</p> <p><3 年生> ■「総合演習Ⅱ」履修登録者は 41 名であったが、単位取得者は 33 名(80%)となった。 ■夏季休暇前に、Ⅱ期にプレテストを実施することを告知し、勉強へのモチベーションに刺激を与えた。 ◇試験勉強のための「学修内容の見直し、繰り返し暗記」する習慣が未熟であることから、在学中の早期に改善指導を促す。 ◇チューターへの信頼関係を強みとして、全体一括指導と少人数指導を組み合わせ、国家試験受験指導を行う。</p>
自己評価	→	最終評価											
2		2											
自己評価	→	最終評価											
2		2											
<p><健康システム学科> 教員採用試験合格者：4 人 (実績：中学校教諭(保健体育) 1 名 現役合格 養護教諭 2 名 既卒者合格)</p> <table border="1" data-bbox="653 1792 1035 1932"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>7</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	7		7	<p>■採用試験対策カレンダーを作成し、学生が出席しやすい環境を整えた。また、学生の動向を把握するために、学生支援課と情報共有の場を設け、試験の結果等を反映させながら、対策を講じた。 ■教育実習終了後より、一次試験対策と並行して、二次試験対策を実施した。模擬授業対策等は教職・学習支援センター、実技は外部講師が対策を行った。夏季休暇中も継続して実施し、その結果、<u>中学校教諭(保健体育) 1 名が現役合格、卒業生 2 名が養護教諭に合格した。</u> ◇教員採用試験対策委員会(仮称)を開催し、学科、学生支援課、教職・学習支援センターの間で情報を共有する場を設ける。 ◇年間スケジュールとともに、学年ごとの対策講座を検討し、段階的に対策講座が実施できるよう策を講じる。</p>						
自己評価	→	最終評価											
7		7											
<p>運動関連資格試験合格率 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康運動実践指導者 (実績：合格者 6 名/受験者 6 名 (合格率 100%)) 健康運動指導士 (実績：受験者 1 名) 公認ジュニアスポーツ指導員 (実績：受験者 2 名) <table border="1" data-bbox="653 2258 1035 2398"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	2		2	<p>■受験学生に対し、事前に実技内容等を記載した資料を提示し、7 月より受験対策を開始した。 ■資格受験者を増やすための取組みとして、関連する科目において、資格の有益性等について学生に説明を行った。 ◇今年度の内容を精査し、引き続き受験対策を継続する。</p>						
自己評価	→	最終評価											
2		2											
<p><看護学科> 国家試験合格率：100%</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師 (実績：合格 103 名/受験 109 名 (94.5%) 新卒平均 94.7%) 保健師 (実績：合格 17 名/受験 18 名 (94.4%) 新卒平均 88.1%) <table border="1" data-bbox="653 2674 1035 2813"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	2		2	<p>■今年度より、「看護研究Ⅱ」を国家試験対策科目と位置付け、明確な合格レベルを示すこととした。 ■17 回模擬試験を実施した。 ■個人模擬試験結果を各保護者へ郵送を行い、家庭からのサポートを依頼。 ◇教員等による国家試験対策のほか、Web 学習や DVD 学習等を活用し、学生主体の自主学習習慣の定着を図り、国家試験合格率 100%をめざす。</p>						
自己評価	→	最終評価											
2		2											

平成 30 年度 事業計画 (重点施策)	これまでの進捗状況 (■) と今後の予定 (◇)						
<p><社会福祉学科> 国家試験合格率：70%以上 ・社会福祉士 (実績：合格 9 名/受験 15 名 (合格率 60.0%) 新卒平均 53.7%) ・精神保健福祉士 (実績：合格 2 名/受験 2 名 (合格率 100%) 新卒平均 77%)</p> <table border="1" data-bbox="653 448 1035 587"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	2		2	<p>■目標としていた合格率 70%以上は、社会福祉士については達成できなかったが、精神保健福祉士は昨年度に続き、2 年連続で 100%を達成することができた。 ■全国順位では、新卒者では 71 位/208 校中 (昨年度 172 位)、県内では 3 位であった。 ■模擬試験結果から保護者を交えたキャリア面談を実施した。 ◇国家試験対策方針を学科会議で検討し、全教員が国家試験対策に当たる。模擬試験の回数を昨年度より 2 回増やす (外部模試は前年度 2 回から 4 回に変更)。</p>
自己評価	→	最終評価					
2		2					
<p><こども福祉学科> 教員採用試験合格率：60%以上 (7 人受験/4 人合格) (実績：延べ 3 名合格)</p> <table border="1" data-bbox="653 842 1035 982"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td>8</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	8		8	<p>■受験延べ人数 15 名、延べ合格者は 3 名と、目標には到達しなかった。 ■第 1 次審査は合格しているが、第 2 次審査 (面接、実技等) で通過していない。 ◇教職・学習支援センター、学生支援課、学科が連携し、継続して試験対策を行う。 ◇第 2 次審査の対策として、<u>公立試験対策室 (13 号館 103 教室) の活用を</u>活発化させる。</p>
自己評価	→	最終評価					
8		8					
<p><保育科第一部・第三部> 教員採用試験合格率：20%以上 (50 人受験/10 人合格) (実績：現役生 6 名合格)</p> <table border="1" data-bbox="653 1181 1035 1320"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	2		2	<p>■現役生 6 名、既卒者 2 名が合格した。 ■新規事業として、新入生対象に基礎学力テストを実施し、学科独自で分析を行った。 ■学内ネットワーク上に共有フォルダを作成し、試験情報や就職希望調査、基礎学力試験の結果等を学科で共有する仕組みを構築した。 ◇各自治体の試験日程、内容に合わせた個別のサポート体制を強化し、個別指導を行う。</p>
自己評価	→	最終評価					
2		2					
3. 教育の質的転換に向けた質保証改革							
<p>・入学前から卒業までの体系化した教育プログラムの構築 ・学修成果の測定の実施と活用</p> <table border="1" data-bbox="653 1825 1035 1964"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>7</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	7		7	<p>■各種セミナーにおいて、新規開発と内容のリニューアルを行い、<u>全 8 種類のセミナーを実施した。</u> ■「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価していくために、「活動報告書」の提出を求め、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を積極的に評価する仕組みを準備した。 ■学修成果の可視化に向けた「兵大 BasicsABC」と「兵大プロフェッショナル力」の評価に向け、各学科において評価対象科目の選定、評価方法及び評価指標を作成した。 ◇コア科目を中心としたルーブリックを策定し、2019 年度よりルーブリックによる評価を実施し、改善に繋げる。 ◇内部質保証システムの再構築に関するプロジェクトチームの答申に基づき、教学アセスメントに基づく学修成果を評価し、PDCA サイクルを回していく。</p>
自己評価	→	最終評価					
7		7					
<p>・学生の質保証のための IR 体制の構築と実施</p> <table border="1" data-bbox="653 2237 1035 2377"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	2		2	<p>■<u>入学時アンケートの実施</u> (回収率 89.8%)。集計結果を第 7 回大学運営会議に速報を提出、その後分析を加え、第 13 回大学運営会議において正式に報告書を提出。学生へは全学科掲示板に掲出し、HP へも公開を行った。 ■Web 回答による卒業時アンケートを実施したが、大学 30.3%、短大 24.57%と低い回収率であった。 ◇平成 30、31 年度の入学時アンケートについて比較分析を行う。 ◇<u>卒業アンケートを実施</u>し、卒業生が社会でどのように適応し、活躍できているか等を調査することで、本学の教育環境の改善の参考とする。</p>
自己評価	→	最終評価					
2		2					
4. 大学力強化に向けた研究力の向上							
<p>・科研費申請 30 件、採択 10 件 (実績：申請数 25 件 (大学 19 件、短大 2 件、事務職員 4 件)) 採択件数 4 件/24 件 (採択率 16.6%)</p> <table border="1" data-bbox="653 2665 1035 2804"> <tr> <td>自己評価</td> <td>→</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>7</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	7		7	<p>■外部機関等の実施する科研費説明会に参加し、それらの内容を反映した説明会を学内で 4 回実施した。 ■科研費申請書チェック標準化のため、「チェックポイントマニュアル」を作成した。 ◇数値目標の見直しを行い、学部を単位として、在籍教員のうち、申請可能教員の 1/3 に相当する数を申請目標数とする。 ◇研究環境改善に関するアンケートを実施する。</p>
自己評価	→	最終評価					
7		7					

平成 30 年度 事業計画 (重点施策)	これまでの進捗状況 (■) と今後の予定 (◇)				
5. 地域社会と連携に基づく地域活性化と人材育成					
<p>・地域をフィールドとした教育体系の設定と充実</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>1</td></tr></table> ➡ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>1</td></tr></table> </div>	自己評価	1	最終評価	1	<p>■連携強化のため、連携協定先へ広報誌やイベント等のチラシを月 1 回発送し、情報発信をしている。</p> <p>■6月に学部学科と地域連携に関する協議(要望や課題のヒアリング)を行った。</p> <p>■実践教育プログラムとして PBL グランプリを開催。</p> <p>◇実践教育プログラムとして、PBL グランプリを継続して実施し、学生及び教職員の実践教育に関する意識改革を行い、教育の一環として進める仕組みを検討する。</p>
自己評価					
1					
最終評価					
1					
<p>・リカレント教育の充実</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>5</td></tr></table> ➡ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>2</td></tr></table> </div>	自己評価	5	最終評価	2	<p>■明石市との連携事業として、保育士等キャリアアップ研修を企画し、延べ 269 名が受講した。</p> <p>■同窓会と連携したビジネスパーソンのリカレント教育や保育士職場復帰研修、管理職向け(幼稚園・保育所)の講座の開講を検討したが、講師・開催日程等が合わず、今年度は見送りとなった。</p> <p>◇ビジネスパーソン向け講座として「ビジネス英語」「投資に役立つ経済学」を新たに開講予定。</p>
自己評価					
5					
最終評価					
2					
6. 大学改革を促すシステムの整備と経営基盤の強化					
<p>・ガバナンス体制の盤石な基盤の確立</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>8</td></tr></table> ➡ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>8</td></tr></table> </div>	自己評価	8	最終評価	8	<p>■事務処理の電子化の推進、ペーパーレス化の推進、決裁ルートの見直しを行い、関連規程を制定、施行を行った。</p> <p>■人事考課制度の改正に関する情報収集を行った。</p> <p>■事務業務構造改革推進のため業務の棚卸しを行い、各課長等からのヒアリングを実施したが、成果には至っていない。</p> <p>◇引き続き、職員の業績評価の見直し、事務業務構造改革を進める。</p>
自己評価					
8					
最終評価					
8					
<p>・安定的な財政基盤の確立</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>8</td></tr></table> ➡ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>8</td></tr></table> </div>	自己評価	8	最終評価	8	<p>■経営改善計画の厳守。</p> <p>■教職員の年度別人員計画については、現状の組織における経年度計画を策定した。人事計画に基づき、教職員の削減を実行した。</p> <p>■超過勤務手当支給基準の見直しに着手したが、課題があったため、導入を見送ることとした。</p>
自己評価					
8					
最終評価					
8					
7. 情報発信力強化によるブランディングの確立					
<p>・タグラインを活用したブランディング戦略の推進</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>2</td></tr></table> ➡ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>5</td></tr></table> </div>	自己評価	2	最終評価	5	<p>■7月に研究ブランディング事業の申請を行ったが、結果は不採択であった。</p> <p>■タグラインの浸透に向けた 5 年間の広報計画を策定し、7月に公式ツイッターを開設した。</p> <p>■大学カラーの変更に伴い公式サイトのデザインを変更した。</p> <p>■近隣の地域住民、学生等に対し、「大学広報アンケート」を実施し、学内にタグラインが浸透していないことが判明した。</p> <p>◇公式サイトの改修、SNSによる情報発信の強化を強化する。</p> <p>◇学生・保護者や教職員に対するインナーブランディング強化の具体的方法を検討する。</p> <p>◇学内情報の共有を図るため、FACT BOOK を制作する。</p>
自己評価					
2					
最終評価					
5					

評価のランク

計画 \ 目標	目標			
	目標達成率 100%以上	目標達成率 80%以上100%未満	目標達成率 60%以上80%未満	目標達成率 60%未満
計画どおりに 実施できた (100%以上)	1	2	5	6
部分的な課題はあるが おおむね順調 (80%以上100%未満)	1	2	5	6
やや進捗が 遅延している (60%以上80%未満)	3	4	7	8
課題があり進捗が かなり遅延している (60%未満)	3	4	7	8

- ・・・順調（進捗、目標達成ともに問題ない。）
- ・・・計画または目標設定に対し、検証が必要。
- ・・・目標達成に向け、改善を要する。
- ・・・計画変更の検討が必要。